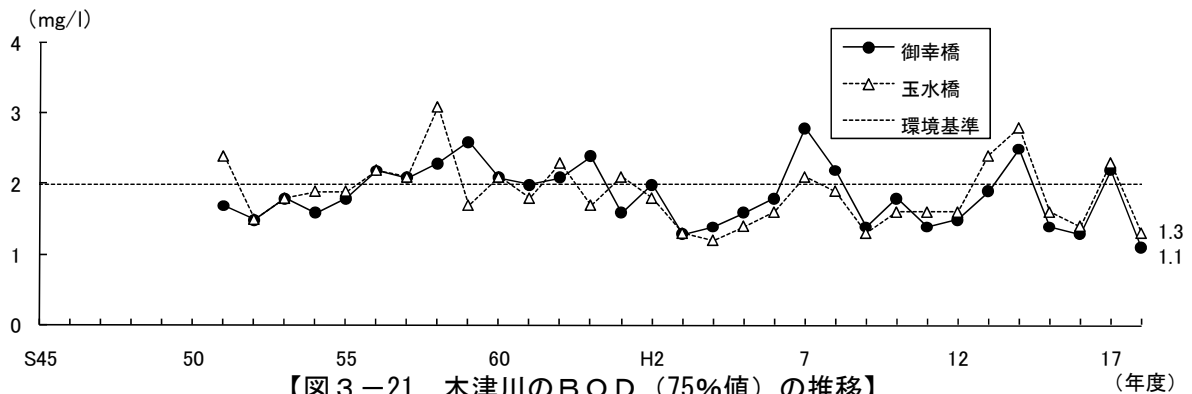


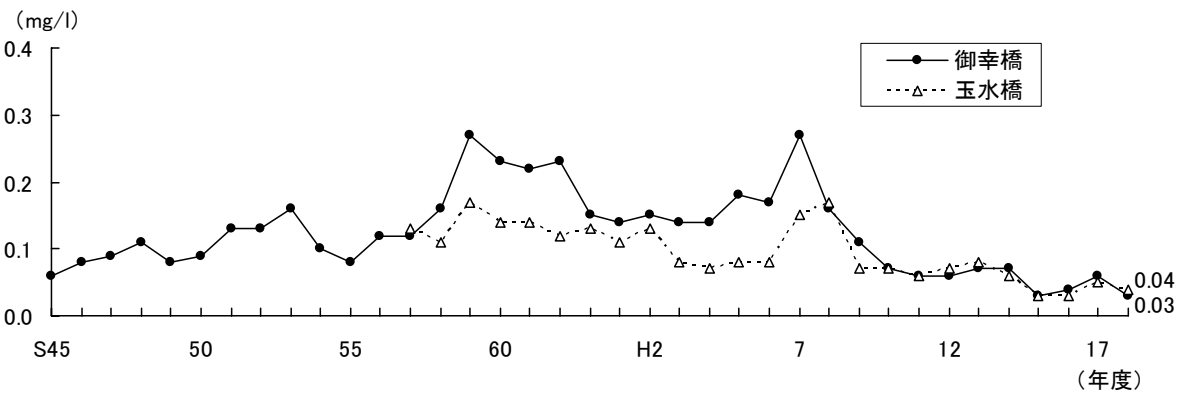
(3) 木津川

木津川御幸橋でのBOD（75%）は平成4年度以降増加し、平成7年度には2.0mg/lを超えた。その後増減を繰り返し、平成18年度は1.3mg/lであった。玉水橋でのBOD（75%）についても、同様に平成7年度には2.0mg/lを超え、その後増減を繰り返し、平成18年度は1.1mg/lであった。ともに環境基準値（2.0mg/l）を下回っている。

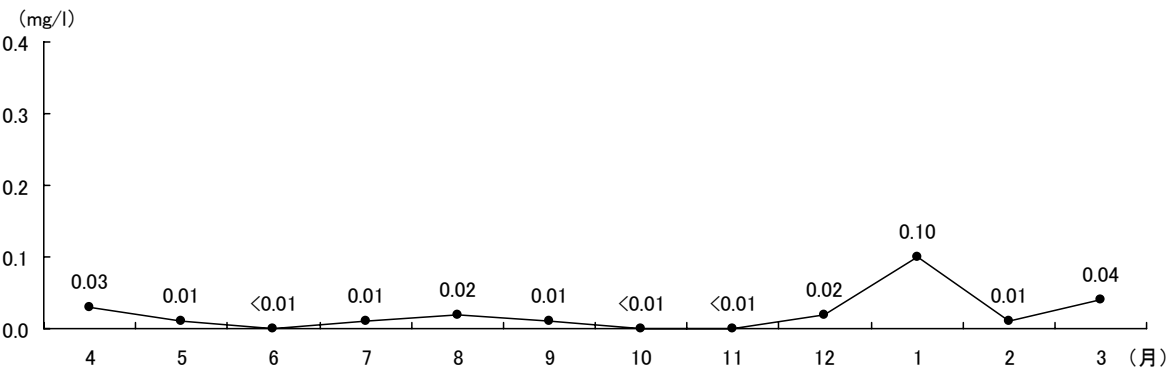
アンモニア性窒素は玉水橋では昭和59年度と平成8年度にピーク値を示したが、近年は減少傾向にあり、平成18年度は0.04mg/lであった。御幸橋では昭和59年度と平成7年度に0.27mg/lとピーク値を示したが、近年は減少傾向にあり平成18年度は0.03mg/lであった。アンモニア性窒素が改善されてきたのは下水処理場の整備などによるものと思われる。



【図3-21 木津川のBOD（75%値）の推移】
京都府「公共用水域及び地下水の水質測定結果」より作成 詳細は資料3-10を参照



【図3-22 木津川のアンモニア性窒素（年平均値）の推移】
京都府「公共用水域及び地下水の水質測定結果」より作成 詳細は資料3-11を参照



【図3-23 木津川（御幸橋）のアンモニア性窒素（平均値）の経月変化（平成18年度）】
京都府「公共用水域及び地下水の水質測定結果」より作成